

野川整備工事（その201）及び今後の事業説明会の議事要旨

1 開催概要

【第1回目】

日時	令和5年10月23日（月曜日）19時00分～20時00分
場所	鎌田区民センター第一会議室（世田谷区鎌田3丁目35番地1号）
参加人数	7名

【第2回目】

日時	令和5年10月30日（月曜日）19時00分～20時00分
場所	鎌田区民センター第一会議室（世田谷区鎌田3丁目35番地1号）
参加人数	14名

2 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

【第1回目 10月23日 鎌田区民センター】

ご質問・ご意見	都の回答
転落防止柵とアクリル板は兼用できるのか。	転落防止柵とアクリル板は兼用できる。ただし、転落防止柵は1.1mの高さを確保することとなっているため、嵩上げ高が1.1m以上の箇所について、兼用を考えている。
嵩上げ高が1.1m未満の箇所についても、1.1mのアクリル板を設置すれば転落防止柵と兼用は可能ではないか。	護岸整備については設計段階であり検討中であるが、公共事業のため、経済性・施工性・環境性など様々な視点から最も合理的な整備方法を採用していきたいと考えている。
天神森橋周辺は1m程度の護岸の嵩上げを行うとのことだが、天神森橋自体の嵩上げは0.5mとなっているのはなぜか。	天神森橋は周辺地盤よりも高い位置に設置されているため、多摩川計画堤防高までの嵩上げを実施する場合、橋梁への嵩上げは0.5mで足りている。

<p>吉澤橋における2.5mの アクリル板は強度として 問題ないのか。</p>	<p>嵩上げ高に対応するアクリル板を採用しており、吉澤橋 におけるアクリル板は35mmの厚さとしているため、強 度は問題ないと考えている。</p>
<p>登校時の児童の安全性を 考慮し、交通規制開始1 週間程度は、交通誘導員 を配置した方がよいので はないか。</p>	<p>周知のため交通管理者や小学校と調整の上、交通規制開 始1週間程度、交通誘導員を配置することを検討する。</p>

【第2回目 10月30日 鎌田区民センター】

ご質問・ご意見	都の回答
<p>アクリル板と基礎の間に できる隙間は、シール材 (ゴムパッキン)で塞ぐ 構造とのことだが、劣化 して漏れることはない か。</p>	<p>他の施工事例として板橋区新河岸川にて設置しており、 設置後10年以上経過するが、パッキンの劣化はない。 また、宮城県等でも東日本大震災後、景観に配慮して防 潮堤の一部にアクリル板を採用している。これらのアク リル板の耐用年数は50年であり、長期の使用に耐えう るものと認識している。</p>
<p>周辺住民へ工事内容や、 規制等の情報は提供して もらえるのか。</p>	<p>工事のお知らせビラ配布、各橋梁に設置する掲示板で週 間工程表を掲示するなどしてお知らせする。</p>
<p>周辺世帯や施設等に高齢 者が多数おり、中には注 意喚起をしても聞かない 人もいる。こうした方へ の対応もお願いしたい。</p>	<p>高齢者施設の位置や現場周辺の利用状況など、事前に現 地確認を行う。また、施設等には、あらかじめ別途注意 喚起をさせていただくことを考えている。</p>
<p>アクリル板の透明度はど の程度か。板橋の例など 設置して時間が経過して も問題ないのか。</p>	<p>(サンプルを提示。) コロナ対策のアクリル板と同様、 新品では無色透明な素材である。若干色褪せはするが、 昔のように紫外線により真っ白になるようなことはな い。</p>

<p>次の点について、学校側と連携して児童の安全確保をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天神森橋の歩道迂回時の誘導 ・野川沿いの道路のうち歩道がない箇所の誘導 ・新一年生の安全確保 	<p>工事前に近隣の小学校には、説明並びに協議に伺う予定である。場合によっては誘導員の増員で対応したい。</p>
<p>近隣道路に、他の工事の車両が駐車していて、見通しが悪く危険である。工事車両に対して休憩や時間調整はしないようにしていただきたい。</p>	<p>本工事では、天神森橋付近と吉澤橋付近の2箇所に資材置場を設ける予定であり、関係車両の駐車スペースや休憩所として利用することで路上駐車はしないようにする。</p>

以上